資料5

「2025年に向けた対応方針」変更状況について

医療機関名 ※下段は開設者名	病床種別								現状（病床機能）①						指定・届出等						2025年（病床機能）② ※下段は現状との差（②-①）							機能変更あり（時期）	過剰な病床機能への転換	増床希望あり	2025年に向けた方針（抜粋）		
		一般	療養	精神	結核	感染症	計	高度	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟（病床）	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	高度	急性期	回復期	慢性期	休棟	介護	計				今後地域で担う役割等	病床機能の変更予定（増床・減床を含む）	診療科や、その他の機能の変更、見直し等の予定
医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院	許可病床	659	0	10	0	0	669	659	0	0	0	0	659	○						659	0	0	0	0	0	659				2023年度には、「医療連携の強化」と「交通弱者への対策」を取り組む計画である。地域医療機関との連携強化として、二次医療圏内でのＥＨＲ（電子カルテネットワーク）の構築があり、地域住民の方々がどの医療機関を受診しても既往歴などのパーソナリティ医療データを共有でき、適切な治療を円滑に受けれる環境の確立を努めていく。これは、当院だけで確立できるものでなく、地域医療機関の相互理解と協力の上で確立できるものであると考える。	当院は現在、ICUからの転棟先が一般病床となっていることから、患者の安全性の向上と密度の高い医療の提供を目的に、2024年度中に特定入院病床であるHCU（20床）の整備を行う計画である。そして、占床率が90%を超えるICUにおいても、手術後の患者安全をさらに高めるため、現状の8床から12床（4床増）に拡張する計画である。 救急搬送件数は年々増加傾向にあり、入院受け入れを円滑に行う目的として、コロナ専用病床として配分をされた特例病床11床を平時は救命センター病床として活用を行う計画である。 （HCU病床：8床⇒20床　精神科病床：10床　ICU病床：8床⇒12床 救命救急病床：30床→41床）	2020年度に、陽子線治療器、トモセラピー（追加設置）、PET-CT、PET-MRIなどの検査機器を完備するがん疾患の放射線治療に特化した施設を増築し、包括的がん治療センターの設立を計画している。 2021年度には、救命センター・外傷センターの機能を拡充する計画である。救命エリアは面積を拡張し高度治療を可能とする環境整備を行う。外傷エリアについては、手術室を3室から5室に増設し、病床も56床から15床増床し再編成をする。併せて、ICU10床を増設する計画である。 その他に、NICUの機能を強化し、産科・小児科・新生児科の連携のもと周産期センターの整備も進めている。
医療法人徳洲会	稼働病床	659	0	10	0	0	669	659	0	0	0	0	659							－	－	－	－	－	－	－						

【参　考】令和３年度病床整備事前協議における協議内容

【公募条件】
○ 横須賀・三浦二次保健医療圏の既存の医療機関の増床を優先とする。
○ 新興感染症等の感染拡大時に陽性患者の受入医療機関となることを前提として、ゾーニング等の観点から活用しやすい病床を新たに整備する場合とする

【審査結果】
・ 全室陰圧室の個室（１室のみ親子対応ができるように２床）を新たに10 室11床整備することとしており、新興感染症等の感染拡大時に陽性患者の受入医療機関となることを前提として、ゾーニング等の観点から活用しやすい病床を新たに整備するという公募条件に適合している。
・ 病院等の開設等に関する指導要綱第８条に基づいて審査したところ、関係法令に抵触していないこと、県保健医療計画との整合性があること、病院等の開設等の計画に確実性があることのいずれの基準も満たしている。